

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
山陽小野田市	山陽小野田市	平成 27 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日	平成 27 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成25年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績/目標※3	
総人口	64,758	61,700	60,464	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	30,094	35,046	31,891	36.29%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	46.5%	56.8%	52.7%	60.72%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	1,710	1,604	255	1,372.64%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	2.6%	2.6%	0.4%	5,421.84%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	16,532	16,289	15,743	324.69%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	25.5%	26.4%	26.0%	58.31%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	16,422	8,761	12,575	50.22%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの	1	浄化槽設置整備事業	山陽小野田市	生活環境の向上と公共水域の水質保全を図るため、対象地域の専用住宅に浄化槽設置するものに対して補助金を交付する。	平成 27 年度 ～ 令和 3 年度	浄化槽設置数：403 基 平成 27 年度 83 基 平成 28 年度 72 基 平成 29 年度 43 基 平成 30 年度 49 基 令和元年度 61 基 令和 2 年度 45 基 令和 3 年度 50 基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

(生活排水処理)

公共下水道については、管路整備により処理人口は増加したものの、目標を達成することができなかった。

集落排水施設等については、令和3年度に農業集落排水事業の3つの処理場のうち1つを廃止して公共下水道に移管し、処理人口が大きく減少したことにより、目標を達成することができなかった。

合併処理浄化槽等については、処理人口が減少したものの実績／目標ベースでは一定の成果が見られた。一方、普及率は上昇したものの目標を達成することができなかった。

未処理人口については、減少させることはできたものの、目標を達成することができなかった。

(合併処理浄化槽整備の実績)

平成27年度から令和3年度までの設置予定基数を595基(=85基/年×7年)としていたが、実績は403基であった。特に、平成29年度以降に設置基数が大きく減少し(平均49.5基)、目標を達成することができなかった。

(都道府県知事の所見)

全体の汚水衛生処理率は向上しているが、公共下水及び合併処理浄化槽等の進捗が伸び悩んでいる。
公共下水及び合併処理浄化槽の計画的整備など、目標達成に向けた方策を検討すること。